

司書教諭配置による 図書館運営と 司書採用のあり方について

古賀 恭子 議員

問 学校図書館整備計画に基づき、市内小中学校の図書購入整備計画は廃棄基準を考慮し、予算計上も含めて今後どのようにするのか。学校図書館法改正により二〇〇三年より十二学級以上の学校には学校図書館教育の充実を目的に専門家である司書教諭が配置される。司書教諭は学校教育に必要な資料を収集し、調べ学習や生きる力、自分で考える力などを身につけさせる適切な指導助言を行う専門職である。この部分でも司書がこれまで指導をしてきた。今後司書教諭と司書との職務内容のすみ分けをどのようにされるのか。今回募集した司書採用について図書司書資格のみに限定したのはなぜか。また一年間の猶予期間が置けなかったのか。

答 学校図書購入費は、地方交付税額を上回って予算化しており、予算の配当は各学校の児童生徒数及び蔵書率に応じて傾斜配分している。図書の整備計画は、平成十四年度に設立した学校図書委員会において、特色ある蔵書計画づくりの策定に向けて協議を行う。司書教諭は、教育課程の効



学校図書館運営の充実が求められた

果的展開を支援することが役割となり、市が雇用する司書は図書館運営の専門的ノウハウを身につけたスタッフとして、司書教諭をサポートする役割を担う。同一資格を有する者を重複して配置することは、結果として教諭としての司書教諭の機能化を遅らせることと異なる能力を持つ者の連携によるメリットを生かすことも困難になると判断した。

第十二小学校は 教育上必要な施設

村山 まさみ 議員

問 一〇〇人の輪は、第十二小問題で「市政も博多湾も濁って底が見えん」と攻撃し、春日市全体の児童数が減少しているとし

ていますが、児童数は、昨年の五月で前年比三十五名増で学級数も五つ増加しています。さらに今年三月の児童数推計では、前年度比十七名の増加見通しです。西小の児童数は、平成十四年度が一千百七十九名、平成十五年度の推計では一千二百十名です。

学校教育法施行規則は「小学校の学級数は、十二学級以上十八学級以下を標準とする」としています。これはこの程度の学校規模が最も教育効果が高いからではないでしょうか。分離校を作らずに西小や春日小が標準規模に減少する展望は何十年先なのでしょう。

答 第四次春日市総合計画を基に平成二十二年度児童生徒数の推計は、春日小が約七百六十名で二十三学級、西小は約一千三百八十名で三十八学級となり標準学

級数の十二学級以上十八学級以下には、ほど遠い現象です。普通教室転用可能教室が教育目的に利用しない「空き教室」と誤解されているのではないかと思うが、普通教室転用可能な四十一室は、少人数学級に八室、ランチルームに六室、多目的室に十四室、会議室等に十一室利用している。

二月十八・十九の両日、二市町の視察を行いました。
兵庫県川西市では、能勢口周辺都市整備計画を調査しました。
「川口能勢駅」を整備し、そこに、西友やジャスコなど、新しいショッピングセンターが建設され、古い木造建築物は改善されましたが、不況の影響で空き店舗も目立っていました。また、これらの大型開発で市債が膨大になり、経常収支比率が九四・二％になるなど市の財政が圧迫されているとのことでした。政府がすすめてきた大型開発優先の政治が市民生活に大きな影響を与えていることが、うかがえました。

会派視察報告(日本共産党)

滋賀県びわ町では、同和行政の終結をすすめる民主町政が誕生し部落解放同盟など特定団体を支援していた周辺の協議会や湖北地協を脱退し、これらの負担金をすべて廃止したということでした。その結果、廃止が予定されていた福祉パスの存続や保育料の値上げを中止するなど福祉中心の街づくりがすすんでいました。協議会の脱退によって近隣市町村との関係が悪化することもなく、一部事務組合の運営などにも全く影響はでないとのことでした。行政の勇氣と決断が同和行政の終結を促進することを実感させられました。



市議会ホームページをご覧ください

定例会や委員会の開催日程などお知らせしています。市議会だよりも見ることができます。ぜひ一度、アクセスしてください。

アドレスは、
<http://www.city.kasuga.fu>